



Shikoku
Cancer Center News
No.59

独立行政法人国立病院機構 四国がんセンター

四国がんセンター ニュース



日本医療機能評価機構
認定第JC1324号

2017
4
APRIL

基本理念 患者の立場にたち人格を尊重し、科学と信頼に基づいた最良のがん医療を提供します。



(西条市 石田地区ひょうたん池 撮影:俊野 健治)

伝統とは変革の連鎖である

平成29年4月から谷水が栗田啓先生の後を継いで四国がんセンターの院長職を拝命いたしました。身の引き締まる思いです。先日院長就任を前に職員に私の大切にしたい価値観と実現したい医療について表明しました。

- 1) 職員の元気が患者さんの元気・安心の前提である
- 2) 四国がんセンターは圧倒的に質の高いがん医療を実現する

職員が元気でなければ、健全な組織とはいえません。昨今の医療環境は大変厳しく、独立採算で良好な経営を維持してきた四国がんセンターも例外ではなくなりつつあります。しかしだからといって職員の志気が低下しては患者さんにも決してよい影響はないでしょう。まずは職員の志気を高め、患者さんが一層元気になるよう、安心できるよう院長が先頭に立って尽力することを

約束しました。

四国がんセンターは愛媛県がん診療連携拠点病院として地域のがん医療の質の向上と均てん化¹⁾に貢献してきました。しかし本来四国がんセンターには圧倒的に質の高いがん医療を提供しているという自負があります。「圧倒的な質」こそが四国がんセンターの存在意義であり、果たすべき使命です。圧倒的ながん医療の実現のために職員1人1人は何ができるか、新たに何をすべきか、見直すべき余地はないか。均てん化が進んだ今こそもう一度、四国がんセンターが果たすべき「圧倒的な質」とは何か、改めて自らに問い直して欲しいといいました。

伝統とは変革の連鎖です。貞観政要(呉兢、守屋洋訳他)²⁾と三国志(宮城谷昌光他)³⁾をバイブルとし、「方法の原理」(西條剛央)⁴⁾を魔法の杖として院長が率先し、私たちがよしとする「圧倒

的ながん医療の質」を追求していきます。平成29年度からの新執行部は院長 谷水正人、副院長 山下素弘、臨床研究センター長 石井浩、生命副院長 河村進、統括診療部長 橋根勝義、看護部長 吉田真弓、事務部長 上甲尚史、薬剤部長 山本宏、です。がんを知り、がんに向かい合い、がんに負けることのない社会の実現のために、今後とも一層のご支援、ご鞭撻のほどをお願い申し上げます。



(四国がんセンター院長 谷水正人)

- 1) 生物がひとしく雨露の恵みにうるおうようにという意味
- 2) 唐の2世皇帝李世民は人の諫言を聞き続けた。
- 3) 英雄達の栄枯盛衰、時代の流れがどうあろうとも尊厳ある生き方はできる。
- 4) 構造構成理論の一理論、状況が変われば方法は変わる。

四国がんセンターの理念

患者さんの立場にたち人格を尊重し、科学と信頼に基づいた最良のがん医療を提供します。

■基本方針

- ①患者さんの権利と尊厳を守る診療・看護を実践します。
- ②がん基幹医療施設として全国及び地域の医療施設と連携した最新の医療を実施します。
- ③がん克服に向けた予防・診断・治療の研究を推進します。
- ④最新のがん医療の普及を目指した教育・研修を実践します。
- ⑤がんに関する医療情報の収集と国内外への発信に努めます。
- ⑥健全な病院経営、持続的な意識改革を実行することにより、患者さんにはかかって良かったと思われる病院、職員には働いて良かったと思われる病院を目指します。

看護部の理念

私たちは専門職としての誇りと責任をもち、がんと共に生きる人を支える最良のがん看護を提供します。

■基本方針

- ①患者さんのQOL向上をめざした看護を実践します。
- ②がん看護の専門家として、チーム医療に参画します。
- ③がんとともに生きる人をサポートするシステムをつくりまします。
- ④専門職として研鑽を重ね、がん看護の指導的役割を担います。
- ⑤患者サービスの向上に向け病院運営に参画します。

患者さんの権利とお願い

■患者さんの権利

①良質かつ適切な医療を受ける権利

個人の人格が尊重され、科学と信頼に基づいた診療を受けることができます。

②「説明と納得」のもとに医療を選択する権利

病状や治療法に関する情報の提供と納得いく説明を受け、検査・治療法について自ら選択あるいは拒否することができます。

③自己の診療記録に関する情報開示を求める権利

自己の診療記録の情報開示を求めることができます。

④個人情報保護される権利

診療上得られた患者及び家族の個人情報は、法律上あるいは治療上の正当な事由のある場合を除き厳正に保護されます。

⑤セカンドオピニオン制度を利用する権利

主治医より受けた診断、治療方法について他の医療機関の専門家に意見を求めることができます。

■お願い

- ①自己の病状や健康に関する正確な情報を医療従事者にお伝えください。
- ②よりよい療養環境を維持するために病院の規則ならびに医療従事者からの指示をお守りください。厳守されない場合には診療や療養を継続することができなくなることがあります。
- ③患者さんの間でも、お互いの立場やプライバシーを尊重してください。
- ④あらゆる危険を回避するために事故防止にご協力ください。
- ⑤がん医療の発展のために当院での治験、臨床試験等の臨床研究・教育・研修にご協力ください。
- ⑥当院は独立採算制をとっています。病院の運営維持のために診療費は確実にお支払いください。



がん治療 最前線

プレジジョン・メディシン

プレジジョン・メディシン(Precision Medicine)とは、日本語にすると精密医療という意味になります。抗がん剤治療の領域では、がん細胞を遺伝子レベルで分析し、それぞれの患者さんに最適な抗がん剤を選択して治療を行うことです。

正常な細胞の遺伝子にいろいろな異常が起きてがん細胞になることが知られています。そのため、がん細胞は正常な細胞が持っている遺伝子とは異なる特有の遺伝子を持っています。細胞の設計図が書き換えられたことで、がん細胞は正常の細胞とは異なる性質を示すと考えられています。

最近、がん細胞の遺伝子を調べることで、それぞれの患者さんに適切な治療法が選択できるようになってきました。がん細胞の特定の遺伝子に異常がある人とならない人では、一部の抗がん剤の効果が大きく異なることが明らかにされています。遺伝子を検査する技術は年々進歩しており、複数の遺伝子を同時に検査する技術が診療の現場にも応用されるようになってきました。日本では、SCRUM-Japan(Cancer Genome Screening Project for Individualized Medicine in Japan:産学連携全国がんゲノムスクリーニング)という、国立研究開発法人国立がん研究センターが全国の医療機関、製薬企業と協力して個別化医療を実現するために実施するがん患者の遺伝子スクリーニング事業が開始されています。肺癌や消化器癌の遺伝子異常の頻度や特徴を明らかにして、特定の遺伝子異常を標的とした臨床試験(治験)を促進することを目的としています。標的となる遺伝子異常の頻度が数%であることが多く、現時点では遺伝子検査を行っても対応する抗がん剤の臨床試験が見つからないケースがほとんどですが、短期間で薬の開発から臨床試験に移行することもあるため、時間の経過とともに新薬が開発される可能性もあります。ただし、必ずしも新薬が良い薬とは限らないため、きちんと臨床試験で検証する必要があります。

四国がんセンターはSCRUM-Japanの拠点施設としてプレジジョン・メディシンを実施できる体制を構築し、より早くより良い治療を患者さんにお届けすることを目指しています。

(消化器内科 梶原猛史)



E V E N T

REPORT

2/15

「がんカフェ・ がん哲学外来」が 始まりました



平成29年2月15日
に「坂の上の雲・暖だ
んカフェ」と題して、四
国がんセンター版「が
んカフェ・がん哲学外
来」が患者・家族総合
支援センター「暖だ
ん」で開催されました。

がん哲学外来は順天堂大学医学部の樋野興夫教授により提唱され、全国に広がっています(<http://www.gantetsugaku.org/>)。H28年7月に樋野先生をお招きして、当院でがん哲学外来の講演会を企画したところ、多数の聴講者が来られ、反響の大きさと患者さんのニーズを実感しました。そのときに愛媛県でも開催をと樋野先生に励ましをいただき、12月には樋野先生自らの教導でがん哲学外来を当院で開催できました。今回は私たちだけによる単独開催の初回です。

以前、他のがん哲学外来を見学したときのある患者さんの言葉ですが、「がんになり患者会に参加して、『これからは自分のために生きるのよ』といわれて自分中心にいろいろ試みた、しかし心が次第に萎んでいった。そんなときがんカフェに参加して、『がんになったあなたにしか出来ないことがある』といわれてハッと自分を取り戻すことができた、それからは機会があればいつも参加してい

る。」という発言がありました。また、患者さん自らが開くがんカフェ、題して「空っぽの器」、参加するひとに満たされて成立する会があるということも知りました。

当院ではボランティアグループ「ふれ愛」の皆さんが20年に渡り活動して下さっています。その活動に患者さんといっしょにティーサービスを楽しむという定期的な会が以前から開催されてきました。今回はボランティアグループ「ふれ愛」のティーサービスとのコラボレーションという形で「坂の上の雲・暖だんカフェ」をスタートさせることが出来ました。機が熟していたと思います。お寺のお坊さんにも協力者になっていただきました。今回は17名のがん体験者の方や家族の方が参加して下さいました。皆さんの生き生きとした笑顔に包まれ、参加者が同じ立場で話すことで確かに癒やしや気づきがある、自分にしかできないことは何かを考えたり、活力を取り戻したりできるということを実感しました。今回の開催は愛媛新聞にも掲載されました(<https://www.ehime-np.co.jp/article/news201702237517>)。



「坂の上の雲・暖だ
んカフェ」はこの4月か
ら毎月1回の定期開催
を予定しています。同
時にがん哲学外来(個
別相談)の機会も(毎
回とはいかないかもし

れませんが)用意します。次回は4月19日午後1時30分から午後3時です。がん患者さんとその家族、悩みを抱える人、悩みを支える人、協力・参加を申し出てくださいる全ての人々を歓迎します。患者・家族総合支援センター「暖だん」のちらしやホームページでも案内しています。

愛媛県ではがん患者家族の会「おれんじの会」などピアサポーターの活動も活発です。医療者にもいいことが気軽に言える「がんカフェ」と医療者にはいえないことが存分に言える「町なかサロン」と様々な形があって、がん患者さんが活力を取り戻し、「がんになっても安心して暮らせる愛媛」が叶っていくとしたらこんなにうれしいことはありません。

(院長 谷水 正人)



治験 CHIKEN CORNER コーナー

ちけん

「当院では治験を実施しています」

こちらは、治験・臨床試験管理室です。このコーナーでは、ただ今、募集の治験等の情報を提供しています。なお、当院HPにて、詳細情報を公開中です。過去に紹介した治験等に関する質問と回答内容は、ホームページの当室コーナー(アドレスを参照)に掲載しています。(治験主任 韮本 譲)

ホームページアドレス

<http://www.shikoku-cc.go.jp/hospital/guide/kanke/trial/>

●現在募集中の治験等情報

右記の件数は企業治験、医師主導治験、製造販売後臨床試験の「現在募集中の治験等情報」です。

(平成29年2月28日現在)

- | | | |
|--------------|---------------|----------------|
| ●肺がん……………26件 | ●大腸がん……………4件 | ●尿路上皮がん……………3件 |
| ●胸腺癌……………1件 | ●膵がん……………3件 | ●卵巣がん……………6件 |
| ●乳がん……………10件 | ●肝がん……………2件 | ●子宮頸がん……………2件 |
| ●胃がん……………10件 | ●膀胱がん……………1件 | ●頭頸部がん……………2件 |
| ●食道がん……………3件 | ●前立腺がん……………5件 | ●固形がん……………5件 |



エキスパートナーズ・メディカルスタッフ パス認定士について

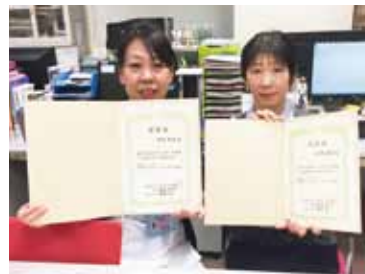
EXPERT NURSE・MEDICAL STAFF Part.35

平成28年11月24日、日本クリニカルパス学会の資格制度として第1回パス認定士33名が誕生しました。四国がんセンターからも2名が認定され、医療スタッフと連携を図りながらパスの作成・運用・管理・開発など多岐にわたり活動をしています。

今回『パス』という言葉初めて聞いた方や、聞いたことがあるけどよく分からないという方に簡単に説明しますと『標準的な医療のスケジュールを示したものです。科学的根拠のもと、医師をはじめ看護師、薬剤師、栄養士、診療情報管理士など多職種が関わりながら、治療毎のスケジュール表を作っています。現在、入院される患者さんの半数以上にパスについてのパンフレットをお渡しし、治療の予定や入院生活での注意点を日めくり形式で説明しています。』

私はパス認定士として働くなかで、直接ひとりひとりの患者さんに関わることは難しいですが、パンフレットを見て「治療経過がイメージできた」「日々の目標や予定などがよく分かって良かった」など、患者さんに喜んでいただくとやりがいを感じます。

これからも安全で安心な医療の提供にむけて、『縁の下の力持ち』としてパスの推進活動に努めていきたいと思っています。パンフレットについてご不明な点がありましたらいつでもお近くの医療スタッフにお声かけください。



パス認定士2名



パスのパンフレット

(地域クリニカルパス開発研修室 清水 弥生)



伊予の細道オリジナルデザート第二弾!

いろいろな種類の樹木があります。

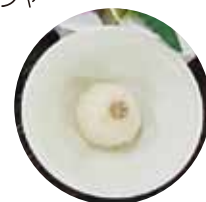
その中には果実をつける樹木もあり、数年前より栄養管理室スタッフが毎年収穫してオリジナルデザートにして提供しています。

第一弾は桃の果肉たっぷりのゼリーでした。

今回は梅の実を氷砂糖と一緒に漬け込み、毎日その瓶を愛情込めてなじませて梅のジュースをつくり、さらに梅の実はジャムへ加工しました。

その果汁と梅ジャムをシャーベットへ変身させ、夏限定のシャーベットとして提供いたしました。

今年も皆さまへお届けできるようにたくさんの実がありますように...



梅シャーベット

(前栄養管理室長 河内 啓子)



少しだけご無沙汰しておりました。

平成29年(ニクの年)、また皆さまにプチ情報をお伝えいたします。

当院には「伊予の細道」という散歩コースがあることをご存知でしょうか。

そこには季節の花々や

がんセンターだより

看護体制について

今、少子高齢者社会を迎え、医療・介護制度は大きな変化を必要とされています。また、すべての団塊の世代が後期高齢者となる2025年に向かい急性期医療の確立と在宅医療の充実が求められます。今後も、地域医療構想の動向や在宅ケアの在り方について考え、取り組んでいかなければなりません。平成28年12月には「改正がん対策基本法」が成立し、愛媛県がん診療連携拠点病院として、質の高い看護職の育成が急務であると考えます。このような状況を踏まえ、前年度、がん看護専門研修において患者さん・家族を生活者として捉え、「看護は医療と生活を結びつける役割」を骨子として、看護師が役割を果たすために身につける6つの能力を掲げました。自院の人材育成は基より、愛媛県下の看護職のがん看護実践力の向上をめざして、看護部の教育研修内容を新しく作成しました。

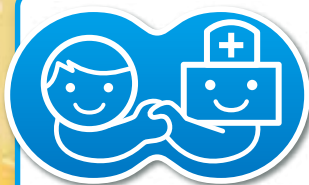
また、新たに愛媛県がん診療連携協議会の中のがん看護専門部会を設立。目的として「愛媛県内におけるがん看護に関わる看護師の資質向上と、がん看護実践レベルの均てん化を図る」を挙げています。

今後、この専門部会を中心として地域の拠点病院・推進病院の協力を得ながら、東中南予の医療機関、訪問看護ステーション、介護施設の看護師等が参加出来る教育環境の整備と看・看連携の強化、顔の見えるネットワーク作りを図って行きたいと思っています。

看護部は専門職としての能力開発に努め、患者の視点に立った質の高い看護実践を追求し、愛媛県がん診療連携拠点病院としての自覚を持ち活動して参ります。



(看護部長 吉田 真弓)



お世話になって医ます

iクリニック内科・呼吸器内科
愛媛県厚生連健診センター

四国がんセンターは、初診患者さん全てが地域の医療施設からのご紹介です。ここでは、かかりつけ医の皆さまからうかがった、様々なご意見をご紹介します。

iクリニック内科・呼吸器内科



今回は、今治市のiクリニック内科・呼吸器内科を訪問させて頂きました。

院長の居倉博彦先生は平成7年に愛媛大学をご卒業され、呼吸器専門医として呼吸器疾患を中心とした内科診療をされるだけでなく、放射線診断専門医でもあり画像診断を得意とされております。そして最新

鋭の画像診断装置も導入され、同じく放射線診断専門医である居倉美穂先生と共にソフト面でもハード面でも大病院にも引けをとらない体制で質の高い画像診断が行われております。

その結果、「昨年の一年間だけでも数多くの早期肺癌を見つけ、手術を行ってもらうことができました。」というお言葉が印象的でした。

「心のこもった対話を通して、患者さんの辛さや苦しみに少しでも寄り添う」

両先生とも非常に温厚なお人柄で、日々の診療においても患者さんの訴えにしっかりと耳を傾け、気持ちに寄り添って診療されていることが想像されました。

また、クリニックの大きな窓から差し込む光や水のカーテンはとても心地よく、さらに患者さんが少しでもリラックスして検査や治療が受けられるよう随所に様々な工夫をされるなど、先生方の気配りが感じられました。

四国がんセンターとの連携に何かご要望はありますか？

連携においても、スムーズな対応と丁寧な診療情報提供を頂いております。

また、循環器疾患を合併されている患者さんも近隣の医療機関と連携を取りながら、状態を評価した上で対応して頂けると伺いし、心強く感じました。

地域の方々が安心して過ごせるよう、患者さんにとって理想の医療を実践されていることを感じさせられました。当院も居倉先生の診療姿勢に応えられるよう努力して参りますので、今後とも宜しくお願いします。



居倉 博彦 院長(中)、居倉 美穂 副院長(右)
臨床試験支援室長 上月 稔幸(左)

(臨床試験支援室長 上月 稔幸)

iクリニック内科・呼吸器内科

- 住 所：〒794-0826
今治市郷新屋敷町3-1-39
- 電 話：0898-22-1929
- 診療科目：呼吸器内科・内科・放射線科・アレルギー科
- 休 診 日：日曜/祝祭日



	月	火	水	木	金	土	日	祝
8:30~12:00	○	○	○	○	○	○	—	—
14:00~17:30	○	○	○	○	○	—	—	—

※土曜日の診療時間は8:30~11:30になります。

愛媛県厚生連健診センター



今回は「予防は治療に勝る」を掲げて長く地域の健康づくりに多大な貢献をされている愛媛県厚生連健診センターを訪問し、センター長の山泉雅光先生にお話を伺いました。当院とは電車で2駅、車で8分程度と距離が近く、乳腺・肺・消化器と多くご紹介頂いています。

施設の特徴について

昭和33年度から巡回診療を開始した共済連の福祉活動を前身とし昭和50年に厚生連として独立され、愛媛県内を島嶼部を含め広く巡回健診をされています。乳がんデジタル検診車や肺がんCT検診車などで今



でも泊りがけになることもあるそうです。施設での健診として人間ドックにも力を入れておられ、なんとその日のうちに検査結果を聞いて帰るスケジュールとなっていました。ご紹介の迅速さの謎が解けると共にその意気込みを感じました。また、ドックでは二ーズに則して、乳がん検査は乳腺超音波検査を胃がん検査は経口・経鼻内視鏡検査をオプションとして選べるようにされていました。

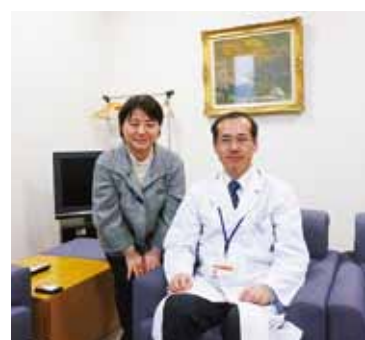
当院との連携に関して

当院が掘之内から梅本に移転して近くなり、医療連携がし易くなったと仰って頂き

ました。紹介状の作成が難しい市町村検診要精査の方などは、ご本人から電話で問い合わせがあれば当院のご予約をお取りできる現状をお伝えしました。

先生ご自身の事について教えてください

八幡浜のご出身、愛媛大学放射線科医局で愛大生時代はテニスでされていたそうですが、今は専ら家庭菜園を愉しんでおられる様です。



愛媛県厚生連健診センター 山泉 雅光 センター長(右)
乳腺科医長 高橋 三奈(左)

最後にお忙しい中施設内も案内して頂きました。平成19年に増築された人間ドック棟はゆったりとくつろげる空間で、調理実習室やトレーニングルームもあり、セミナーや健康まつりなど楽しく健康管理に取り組める工夫がなされていました。今後ともどうぞよろしくお願い申し上げます。

(乳腺科医長 高橋 三奈)

愛媛県厚生連健診センター

- 住 所：〒790-0925
松山市鷹子町533-1
- 電 話：089-970-2070
- 診療科目：内科、消化器内科、循環器内科、放射線科
- 休 診 日：土曜/日曜/祝祭日



	月	火	水	木	金	土	日	祝
8:30~11:30	○	○	○	○	○	—	—	—
13:00~16:00	○	○	○	○	○	—	—	—

頭頸科・甲状腺腫瘍科

頭頸科・甲状腺腫瘍科は頭頸部領域に発生するがん(舌・口腔がん・咽頭がん・喉頭がん・唾液腺がん・甲状腺がんなど)の治療に取り組んでいる科です。

頭頸部がんの最適な治療法は発生部位・組織型・進行度によって様々です。

当科では手術、高精度の放射線治療(IMRT:強度変調放射線治療)、分子標的薬治療(EGFR阻害剤やTKI拮抗剤)や免疫チェックポイント阻害剤(臨床治験段階)などの治療法のなかから最善の選択をして、チーム一丸となって頭頸部がん治療に取り組んでいます。

診療においてはとくに以下の【3つの柱】を大切にしています。

まず【常に最新・最良の治療をめざす情報力】です。

がん治療の世界は近年、新薬の導入や新しい治療法の開発により日進月歩です。

その中でどの治療法が最良かを常に検証していかなければなりません。当科は四国で唯一のJCOG(日本臨床腫瘍グループ)頭頸部グループのコアメンバーとして日本の頭頸部癌において標準治療の確立やガイドライン作成に携わっています。また、新薬の臨床治験に参画し、次世代の治療の確立と検証に力を注いでいます。

次に【がん治療への専門的なチーム力】です。今は二人に一人ががん

になる時代です。がんになった方には仕事・家族がおられ、様々な事情をかかえています。がん治療を継続する上で、スタッフ全員がそれぞれ専門家の視点からお役に立てるように努力しています。複雑な治療を要する頭頸部疾患を扱うためには、形成外科医や歯科医、腫瘍内科医、放射線科医など他の専門医との密接な協力関係が大切です。当科では治療初期から口腔ケアや栄養管理・疼痛管理・がんリハビリ・感染症対策などを積極的に導入し、合併症の軽減と治療の完遂に努めています。循環器疾患や脳血管疾患など当院にない分野のケアが必要な場合には多くの専門の先生方や御施設と密に連携を取りながら治療を進めています。

最後に【圧倒的な技術力の追求】です。手術のクオリティは厳しい修練や長い臨床現場で培ってきた経験値がものを言います。確立された手術法に最新の技術を融合させていく創意工夫も大切です。質の高い頭頸部外科医として、日々精進を重ねていくことをスタッフ一同が肝に命じています。

今後も頭頸部がん・甲状腺がん治療のスペシャリストとして、地域の皆様に信頼される医療を目指して参りますのでどうぞよろしくお願いいたします。



(医長:門田伸也 医師:橋本香里 花川浩之 岡愛子)

「患者の言い分、 医者の言い分」



若くみえるのはいいこと?ですよ

若いなあ

2年ぶりの来院です。『先生!久しぶりじゃのお。ありゃあ先生、白髪が増えたの。どがいしたんぞ。ストレスが多いんじャろのお。』『○○さんは、若いねえ。75には見えんぞね。』実際に、その患者さんは見た目60代前半にみえるのです。『調子は良さそうじゃけど、なんかええことがあったんかな。』『わしはお、ついこのあいだ、ひ孫がでてのお。まだ、長生きせにゃあいかんわい。ははは。』なるほど、普段から若くみえる上に、嬉しいことが重なってますます元気をもらったんですね(*^_^*)。

他にも…

がんをはじめとして、消耗性の疾患では、見た目、実際の年齢より年を取ってみえることが多いのですが、外来に通っている患者さんの中には、実年齢よりかなり若くみえる方がいらっしゃいます。うち一人は、60代後半の女性ですが、どう見ても40代にみえるのです。物腰もそうですが、皮膚のしっとり感もしかりなのです。これは、色目で見てるのでは無く、医学的に見てるのですよ。誤解なきように(^_^)私なんぞ、だんだんと皮脂や皮膚の水分が少なくなって、いつもかさかさなの…

初診の患者さんで、失言したことがあります。「どうぞお入りください。」女性が二人入ってきました。「今日はおねえさんといっしょですか?」「いえ、母です。」「えっ…失礼しました。お若いですねえ。」診察忘れて、一盛り上がりです。診察時間が普段の2倍近くかかりました(-_-)。

私は昔から…

私は、高校の時からおっさん顔で、実年齢よりも上に見られていました。

大学時代のエピソードがあります。入学してから2年くらいたったころです。ある同級生が、私が現役で入ったことをしり、『栗田!おまえ、わし(医学生とはいえ、いろいろな言葉遣いがありました)より年下じゃったんかあ。今の今まで、年上じゃと思うった。』彼は、2浪だったのですが…当時は白髪など無かったのですが、白髪がちらほら出してからは、どんどん増えていきました。娘に、一度聞いたんです。「染めてみようか?」「染めん方がいい!」この一言で、成り行きに任せることに決定。でも、白髪で年齢を感じることは正直言ってなかったなあ。年齢を感じたのは、眉毛に白いものが混じってきたことと、ビヨーンと長い眉毛が生えてきたことですね(^_^;)。これを読んでいる中には思い当たる人がいるでしょう!

同年代のタレントも多いです

私は、65才ですが、同じ年頃の役者さん、タレントさんは、数多くいます。さだまさしさん、志村けんさん、三浦友和さん、山下真司さん、阿川泰子さん、ビートたけしさん、小林薫さん、モト冬樹さん、等々たくさんいますよ。テレビの画面で見ただけですが、皆さんとても若々しいですよ。そうでなくっちゃファンが離れていくものね。相当気を配っているのだと思います。

実は、わたしも、若いときは年がいつてみられていましたが、今は若くみえると言われます(^o^)。仕事を続けているからでしょうね。ありがたいことです。

皆さんもいつまでも若々しく!

先ほども書きましたが、私は、65才になり、このエッセイが出た頃には、院長の職を辞しています。この号をもって、筆を置きたいと思えます。見直してみると、つたない文章ですねえ…m(_ _)m長年にわたり掲載できたのも皆さんの応援のおかげです。ありがとうございました。

もう一度、皆さん、いつまでも若々しく!

(名誉院長 栗田 啓)

ハイ!一句 がんセンター 俳句ポスト



採血の差し出す左腕着ぶくれて

(77歳)

さいけつ、さしだす、さわんの「さ」の頭韻が利いている。下五・着ぶくれてもおかしい。着ぶくれてもこもこの左腕。気が重い場面だけど少し和んだ作者なのだろう。

妻からの愛の重たきちゃんちゃんこ

(60歳・男性)

重たきは、「愛」なのか「ちゃんちゃんこ」なのか、はたまた両方なのか。「重たき」といいながら、その愛をうれしく受け止める作者なのだろう。

木犀も金銀競う終の家

(68歳・男性)

金木犀と銀木犀。スポーツ競技のように、金、銀競っているのでは、という機知が楽しい一句。終の棲家には両方植えられて、秋になれば、それぞれが魅力的な香りを放ってくれるのだろう。

入選 散る命残る命と積る雪

(46歳・男性)

「散る桜残る桜も散る桜」という良寛・辞世の句の本歌取りなのだろう。下五の積る雪がしみる。命もしずかにそれぞれのその時を迎え、雪もまたしずかにつもりゆくのみ。

入選 冬日射す病臥の窓に小鳥来る

(77歳・女性)

てんてきのとりのさえずりはるのこえ

(68歳・女性)

病室にいる作者と鳥の訪れにより季節を感じられる2作品。1句目、冬日(冬)、小鳥来る(秋)と季重なりなので、できれば解消はしたいが、よくある実景として理解できる。中七下五のフレーズがこなれている。2句目、点滴の落ちるリズムに合わせてさえずりが聞こえてくるような気がしたのだろうか。こちら、さえずり(春)、春の声(春)と季語が二つあるが、病室から外へ、春へと思いを馳せる気持ちはとても共感できる。

選者:三瀬あき(100年俳句計画いっし組)



皆さんの「一句」募集中!!

患者さんのご要望で生まれた四国がんセンターの俳句ポスト、「ハイ!一句ポスト」。大変ご好評をいただいております。設置場所は、各階エレベーター前、図書コーナー、総合案内、支援センター「向日葵」で、作品は随時募集中です。選句は、毎月当コーナーに掲載させていただきます。患者さん、ご家族、面会の方、職員、どなたでも気軽にご投稿ください。皆さんの「自慢の一句」「楽しい一句」をお待ちしております。



お知らせ

いつも四国がんセンターニュースをご愛読頂きありがとうございます。ニュースの定期発送をご希望の方は、広報活動委員までご連絡ください。

■ご連絡方法…●電話:089-999-1111(代表) ●FAX:089-999-1100

なお、既に定期発送させて頂いている方で、発送が必要でない場合はご一報頂きますようお願い申し上げます。

ご意見箱設置



当院では、中央待合ホールや各病棟にご意見箱を設置しております。皆さんからいただいた当院への貴重なご意見、ご感想は職員一同、真摯に受け止め、患者さんの立場に立った、よりよい療養生活、療養環境に貢献できますよう改善に努めて参りたいと考えております。今後とも当院に対するご意見等がございましたらご遠慮なくお寄せください。(氏名・病棟名は無記名でも結構です。)

皆さんからのご意見、ご感想に対する回答は、2階患者さん用エレベーター横の掲示板に掲示させていただきます。

標語の紹介

- 4月 身だしなみ 職員同士で まずチェック
- 5月 よりよい接遇 よりよい医療
- 6月 何気ない 言葉の温度 大切に

1日平均患者数

	27年度	28年度(4月~2月末)
入院	315.3	278.1
外来	500.1	471.9

手術・化学療法・PET-CT件数 ※()内は1日平均件数

	27年度	28年度(4月~2月末)
手術	2,329 (9.6)	1,959 (8.9)
外来化学療法	9,016 (37.1)	8,041 (36.4)
PET-CT	4,639 (19.1)	3,953 (17.9)

ご意見、ご感想等ありましたら、広報活動委員までお寄せください。

■広報活動委員…河村 進(委員長)・上甲 尚史・石井 浩・橋根 勝義・井尻 昭・伊藤 真之・向井 敬浩・樋口 智之・高市 瑞穂(ボランティア)



シロツメクサ

(四国がんセンター「伊予の細道」にて)

外来診療一覧表

- 新患受付時間 7:30~12:00
- 診療時間 8:30~17:15
- 休診日:土・日・祝日及び年末年始

担当医は変更となる場合がありますのでご了承ください

四国がんセンター概要

〒791-0280

愛媛県松山市南梅本町甲160

TEL:089-999-1111

FAX:089-999-1100

http://www.shikoku-cc.go.jp/

環境

“いで湯と城と文学の街”ここ愛媛の松山はノスタルジックあふれる城下町。

当院はこの城下町の南東に位置し、東に霊峰石鎚、北に道後温泉、西に伊予灘を望み、自然に恵まれた最高の療養環境に立地しています。

交通機関も伊予鉄巡回バスの運行など便を増やすことで来院も便利になりました。

今後も患者さんの視点に立った細かな配慮を心がけ、西日本を代表する「がん専門病院」として精進いたします。

診療内容

呼吸器内科	乳腺外科
呼吸器外科	婦人科
消化器内科	頭頸科・甲状腺腫瘍科
消化器外科	骨軟部腫瘍・整形外科
精神腫瘍科	形成・再建・皮膚腫瘍外科
緩和ケア内科	リハビリテーション科
ストーマ外来	リンパ浮腫
禁煙外来	放射線診断科
泌尿器科	放射線治療科
血液腫瘍内科	病理診断科
感染症・腫瘍内科	歯科
セカンドオピニオン	麻酔科
家族性腫瘍(がん)相談	がんドック
がん看護外来	原発不明がん診療科

病床数

405床

当院は予約制を行っており、予約患者さんを優先しております

診 療 科			月	火	水	木	金
消化器	内 科	食道・胃・大腸	梶 原 (化)	仁 科 (化)	仁 科 (化)	梶 原 (化)	中 舎 (化)
			西 出 (内)		堀 (内)	日 野 (化)	
		肝 ・ 胆 ・ 膵	灘 野	浅 木	石 井		灘 野 畔 元
	外 科	食 道 ・ 胃		羽 藤		野 崎	
		大 腸	小 林	落 合		予 小 嶋	★落合／☆小嶋
呼 吸 器	肝 ・ 胆 ・ 膵		大 田	棚 田			
	内 科	○ 上 月	野 上	○ 野 上	上 月	○ 野 上	
	内 科 新 患	○ 原 田	原 田	○ 上 月		原 田 ○ 野 上	
	外 科	山下(素)	上 野	杉 本	山下(素)	牧	
	予禁煙外来				○ 杉 本	牧	
緩和ケア・精神腫瘍科			三 好(緩和)	谷 水(緩和)	成 本(緩和)	落合(緩和・精神)	三 好(緩和)
							予 大中(緩和)
泌 尿 器 科			予 橋 根		橋 根		○ 二 宮
			○ 細 川		○ 二 宮		○ 井 内
			○ 角 田		○ 細 川		○ 角 田
血 液 腫 瘍 内 科				吉 田		吉 田	
感 染 症 ・ 腫 瘍 内 科			○ 濱 田			○ 濱 田	
婦 人 科			竹原/坂井	横山(隆)	竹 原	大 亀	白山/藤本
			横山(隆)		白 山		坂 井
			横山(貴)		藤 本		大 亀
乳 腺 外 科			青 儀	大 住	高 嶋	青 儀	予○高 嶋
			高 嶋	高 橋	高 橋	高 嶋	大 住
					原 (化)		原 (化)
形成・再建・皮膚腫瘍外科			○ 河 村	○ 山下(昌)	○ 河 村		△山下(昌)(1:3-5週)
頭頸科・甲状腺腫瘍科 (耳鼻咽喉科)			門 田	○ 担当医	門 田	○ 担当医	橋 本
			橋 本		岡		岡
			花 川		花 川		
骨軟部腫瘍・整形外科			○ 杉 原		○ 杉 原	△ 杉 原	○ 杉 原
			中 田		○ 中 田	中 田	○ 中 田
放 射 線	診 断 科	菅 原	桐 山	清 水	菅 原	細 川	
	治療新患	片 岡	片 岡	上 津	西 川	西 川	
	治 療 科	上 津	上 津	西 川	上 津	★片岡/★上津	
		西 川	西 川	片 岡	片 岡	☆上津/☆片岡	
予ストーマ外来				落 合	橋 根	小 嶋	
予リンパ浮腫外来				○ 河 村	○ 山下(昌)		△山下(昌)(1:3-5週)
リンパ浮腫ケア外来				リンパ浮腫ケア(自費)			リンパ浮腫ケア(自費)
予麻酔／疼痛外来							予 首 藤
原発不明がん診療科				△ 青 儀			
予セカンドオピニオン			担当医	担当医	担当医	担当医	担当医
遺伝性がん診療科			担当医	担当医	担当医	担当医	担当医
がん看護外来			がん看護外来	がん看護外来	がん看護外来	がん看護外来	がん看護外来
が ん ド ッ ク			酒 井	徳 永	酒 井	徳 永	酒 井
			日 野	治療内視鏡	日 野	堀	寺 尾
			堀	治療内視鏡	西 出	西 出	堀
			畔 元	治療内視鏡	畔 元	畔 元	西 出
内 視 鏡 生 理 検 査							

予…予約のみ ○…午前のみ △…午後のみ ★…奇数週 ☆…偶数週 (化)…化学療法担当 (内)…内視鏡治療担当
※診療担当は変更する場合がありますので、事前にご確認ください。

TRAFIC ACCESS 交通のご案内



車でのお越しの場合

- 松山空港から車で 約45分
- JR松山駅から車で 約30分
- 松山市駅から車で 約25分

松山自動車道

- 松山インターから車で 約20分
- 川内インターから車で 約20分

電車・バスでお越しの場合

